

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 58' 26.78"	橋梁ID
				経度	140° 31' 26.35"	
老古美三号橋 (フリガナ)オイミサンゴウハシ	東老古美中通り	北海道岩内郡岩内町字宮園				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2020.9.3	運上屋川	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

最上 匠

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名		判定区分 (I～IV)	変状の種類 (II以上の場合に 記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	IV	変形・欠損	写真001,主桁G2			
	横桁						
	床版	IV	変形・欠損	写真002,床版 中間部			
下部構造		I					
支承部							
その他		IV	路面の凹凸、舗装異常	写真003,舗装 全体			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分I～IV)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
IV	本木橋は主構造である主桁や床版等の損傷が著しく、道路橋としての機能が欠如しているため、緊急措置が必要である。 現在は、通行に支障があるため通行止め措置を実施している。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1950年	6.4m	3.1m
橋梁形式		
木橋		

起点





終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。


○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>写真1 上部構造・主桁(G2)【判定区分: Ⅳ】</p>  <p>断面欠損</p>	<p>写真2 上部構造・床版(中間部)【判定区分: Ⅳ】</p>  <p>断面欠損</p>
<p>下部構造()【判定区分: 】</p>	<p>支承部()【判定区分: 】</p>

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真に記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>写真3 その他(舗装01)【判定区分: Ⅳ】</p>  <p>舗装異常 (全体的に消滅) 路面の凹凸</p>	<p>—【判定区分: 】</p>
<p>—【判定区分: 】</p>	<p>—【判定区分: 】</p>